

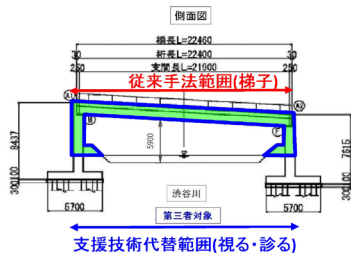
活用事例

- 橋長 : 22.4m、幅員 : 15.8m
- 橋梁形式 : 単純非合成H桁橋
- 対象部位・部材 : 上部工、下部工
- 性能カタログ(又はNETIS)番号 : BR010018-V0625
- ☆ [性能カタログへのリンク](#)

橋梁・支援技術



位置図及び側面図



○点検支援技術の効果

- ・ 広範囲を効率よく点検することが可能。
- ・ 高所作業がなくなり、点検員の安全性が向上する。

○近接目視と同等と判断した理由

- ・ 狭小な桁間においても、近接写真が撮影可能である。
- ・ ひびわれ幅0.1mmを検出可能である。
- ・ 第三者被害予防措置対象外であり、打音検査の必要がない。

○使用時の留意事項

- ・ 平均風速5m/s以下であること。
- ・ 現場近傍に機材の積み降ろし・組立スペースが必要。
- ・ 橋面上に機材を設置するため、交通規制が必要。

橋梁点検支援ロボット（見る診る・スタンダード・ハイグレード・mini） ＋橋梁点検調書作成支援システム（ひびわれ）（2／3）



写真-1 点検状況



写真-2 操作状況



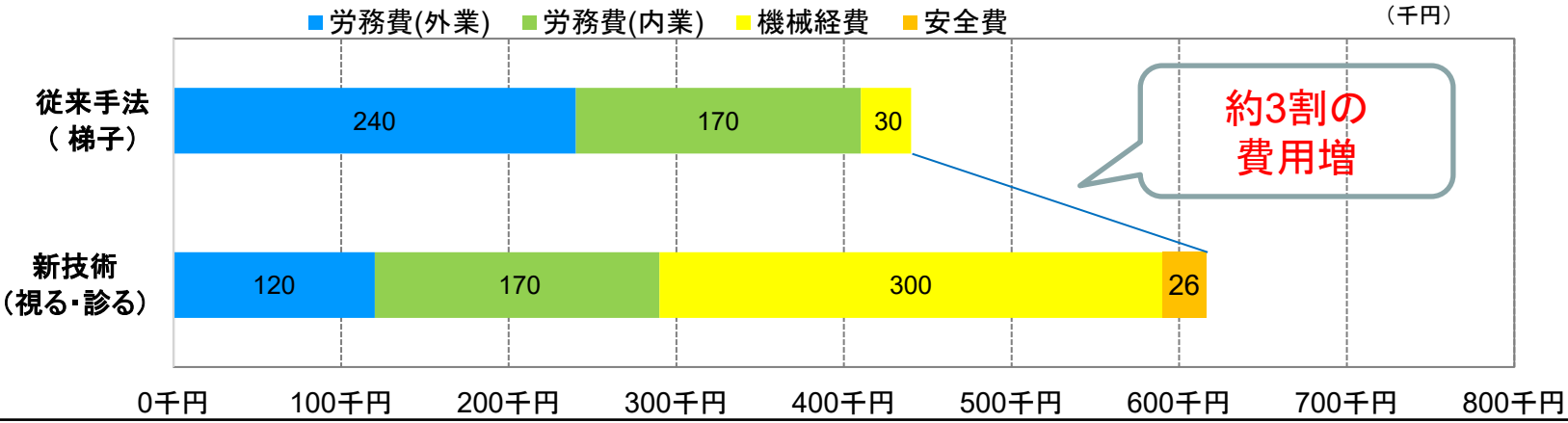
写真-3 床版（ひびわれ）



写真-4 主桁（腐食）

コスト比較

比較条件：上部工、下部工を点検した場合のコスト比較。
評価：従来技術（梯子）と比べ、機械経費により増額となったが、
高所での作業がなくなり、点検員の安全を確保することができた。



項目	従来技術	点検支援技術
外業	近接目視	点検支援ロボットによる状態把握
内業	点検調書作成	点検調書作成
比較対象	梯子	点検支援ロボット「見る・診る」
合計金額	440千円	616千円
工程	2日(外業)	1日(外業)

○諸条件

点検面積:355m2

橋台高:5.9m(河床～桁下)

天 候:晴れ

対象部位・部材 :上部工、下部工

点検時間:9:00～17:00

たたき落とし作業:無し

積 算:業者見積もり

前回の健全度:Ⅱ判定